

中小企業景況調査報告書

2021年度第4・四半期（1～3月）

大江山河川の桜



Cherry Blossoms on the Banks of Oguni River

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（100社）	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表（業種別上位3位）	7
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	8～10
前年同期比のグラフ（各項目）	11～14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所
- V. 調査対象企業
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建設業	12
製造業	35
卸売業	10
小売業	16
サービス業	27
合 計	100

- VI. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- | |
|---------|
| 1位3ポイント |
| 2位2ポイント |
| 3位1ポイント |

今 期 の 概 況

感染再拡大とコスト増の影響で業況悪化。 先行きも厳しい見通し

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、売上、従業員のDI値で前期実績を上回り、業況、採算、資金繰りのDI値で前期実績を下回った。

来期は、業況、採算、資金繰りのDI値で今期実績を上回り、従業員のDI値で今期実績横ばい、売上のDI値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲13.1から▲22.0(8.9ポイント減)となり、来期は▲20.0(2.0ポイント増)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績▲7.1から▲6.0(1.1ポイント増)となり、来期は▲8.0(2.0ポイント減)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲24.2から▲38.0(13.8ポイント減)となり、来期は▲30.0(8.0ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲13.1から▲15.0(1.9ポイント減)となり、来期は▲12.0(3.0ポイント増)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績▲10.1から▲8.0(2.1ポイント増)となり、来期は▲8.0(横ばい)となる見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲3.0から▲27.0(24.0ポイント減)となった。
- 売上DI値は、前期実績2.0から▲29.0(31.0ポイント減)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲8.1から▲17.0(8.9ポイント減)となった。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(47件、29事業所)に比べ、件数、事業所数ともに減少している。

- ① 今期の実績(表3参照)は32件(24事業所)。その主な内訳は、『車両・運搬具』『OA機器』各7件、『工場建物』『生産設備』各5件、『付帯施設』4件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は34件(26事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』11件、『工場建物』8件、『OA機器』4件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『仕入等単価の上昇』『需要の停滞』『ニーズの変化への対応』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社（繊維製造業〈紳士服地製造〉）

昨年10月以降小売店の販売が回復傾向となり、多少受注が上向きとなっているが、ウールなど原料を海外から輸入しており円安や原材料価格の高騰は採算を悪化させている。また、オミクロン株の感染状況によっては今後の消費の動向が左右されるため見通しが難しい。

B社（繊維製造業〈ニット生地製造〉）

デパートの衣料販売が低迷。若い人がブランドに拘らずネット通販やメルカリで中古の服でよいと考える人が多くなった。また、原材料価格について石油を原料とするポリエステル、アクリルが値上がりするのはまだしも、今年になり綿、麻、ウールなど天然繊維が2～3割上昇した。洋服が売れない中、ますます繊維業界は厳しくなっている。

C社（製造業〈菓子製造〉）

食材の値上がりと共に電気、ガスの間接的な経費も値上がりしており利益確保が難しくなっており、商品価格の値上げをせざるを得ない。また、コロナウィルスの社内で感染者が出た場合、工場の稼働、生産への影響を最小限にする体制を整える必要がある。

D社（建設業〈電気工事〉）

電線等の仕入れ価格の上昇、入手困難な材料もかなり出てきているため工期が長くなる場合がある。さらに、懸念材料として社員にコロナウィルス感染者が出れば現場の作業停止・作業者の休業などで納期遅れとなる事から会社として感染者が出ないように努力している。

E社（小売業〈食品小売〉）

サンドウィッチの販売しており、コロナの感染が拡大するとリモートワークが増えて平日の売上が減少するが、反対に土、日、祝日については皮肉な事に外出が減ることで売上が増加する。今年1月からトータルで増加傾向にあり順調。コロナ以前のデータが役に立たず今後の見通しがわからない。

F社（卸売業〈食品容器卸売業〉）

長期に亘るコロナ禍で飲食業界の売上低迷が続いている上に、飲食ができるイベント等の復活も期待できない中、今後の見通しが立たない状態である。今後コロナが収束したとしても、これまでの風習がどこまでコロナ前の状態まで復活できるかで左右される。

G社（サービス業〈学習塾〉）

小中高の学級閉鎖や生徒の家族が新型コロナに罹患、濃厚接触者になることで教室での授業に出席できない生徒が増加している。当塾も今後対面での指導が厳しくなることを予想し、ICT教育の導入、タブレット端末の買増しなどオンライン指導に対応できるよう準備を行っている。

景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R3. 1～3月	R3. 4～6月	R3. 7～9月	R3. 10～12月	今 期 R4. 1～3月	来期の見通し R4. 4～6月
業 況	▲60.0	▲21.0	▲17.0	▲13.1	▲22.0	▲20.0
売 上	▲66.3	▲16.0	▲14.0	▲ 7.1	▲ 6.0	▲ 8.0
採 算	▲58.9	▲25.0	▲18.0	▲24.2	▲38.0	▲30.0
資金繰り	▲18.9	▲ 9.0	▲17.0	▲13.1	▲15.0	▲12.0
従 業 員	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 9.0	▲10.1	▲ 8.0	▲ 8.0

業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	12	35	10	16	27	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (1)	9 (5)	1 (1)	3 (3)	3 (1)	18 (11)	▲ 22.0 (▲20.0)
	不変	4 (7)	16 (24)	4 (6)	6 (8)	12 (13)	42 (58)	
	悪化	6 (4)	10 (6)	5 (3)	7 (5)	12 (13)	40 (31)	
売上	増加	3 (2)	13 (12)	4 (3)	5 (3)	7 (4)	32 (24)	▲ 6.0 (▲8.0)
	不変	3 (6)	13 (16)	2 (4)	3 (6)	9 (12)	30 (44)	
	減少	6 (4)	9 (7)	4 (3)	8 (7)	11 (11)	38 (32)	
採算	好転	0 (1)	5 (4)	1 (1)	1 (2)	3 (1)	10 (9)	▲ 38.0 (▲30.0)
	不変	6 (4)	14 (21)	5 (6)	6 (6)	11 (15)	42 (52)	
	悪化	6 (7)	16 (10)	4 (3)	9 (8)	13 (11)	48 (39)	
資金繰り	好転	1 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (1)	4 (4)	▲ 15.0 (▲12.0)
	不変	10 (10)	29 (29)	9 (9)	11 (12)	18 (20)	77 (80)	
	悪化	1 (0)	6 (5)	1 (1)	5 (4)	6 (6)	19 (16)	
従業員	増加	3 (1)	4 (3)	0 (0)	3 (2)	3 (2)	13 (8)	▲ 8.0 (▲8.0)
	不変	7 (9)	22 (26)	10 (10)	11 (13)	16 (18)	66 (76)	
	減少	2 (2)	9 (6)	0 (0)	2 (1)	8 (7)	21 (16)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	24	来期	計画している ※2	26
	(事業所数)	実施していない	76	(事業所数)	計画していない	74

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	1 件	5. 付帯施設	4 件	3 件
2. 工場建物	5 件	8 件	6. O A 機器	7 件	4 件
3. 生産設備	5 件	11 件	7. 福利厚生施設	0 件	2 件
4. 車両・運搬具	7 件	3 件	8. その他	2 件	2 件
			合計	32 件	34 件

複数回答可

景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R3.1～3月	R3.4～6月	R3.7～9月	R3.10～12月	今 期 R3.10～12月
業 況	▲45.3	▲ 9.0	▲18.0	▲ 3.0	▲27.0
売 上	▲53.7	3.0	▲10.0	2.0	▲29.0
資金繰り	▲21.1	▲ 9.0	▲15.0	▲ 8.1	▲17.0

業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	12	35	10	16	27	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	2	1	2	1	7	▲ 27.0
	不 変	9	22	4	9	15	59	
	悪 化	2	11	5	5	11	34	
売 上	増 加	2	3	4	3	3	15	▲ 29.0
	不 変	6	16	3	6	10	41	
	減 少	4	16	3	7	14	44	
資 金 繰 り	好 転	0	0	0	0	2	2	▲ 17.0
	不 変	12	28	9	13	17	79	
	悪 化	0	7	1	3	8	19	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○材料価格の上昇	○民間需要の停滞	○材料の入手難
製造業	○原材料価格の上昇	○需要の停滞	○人件費の増加 ○製品(加工)単価の低下・上昇難
卸売業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○小売業の進出による競争の激化 ○人件費以外の経費の増加 ○販売単価の低下・上昇難
小売業	○仕入単価の上昇	○消費者ニーズの変化への対応	○販売単価の低下・上昇難
サービス業	○材料等仕入単価の上昇	○利用者ニーズの変化への対応 ○従業員の確保難	○人件費の増加 ○利用料金の低下・上昇難

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	17
材料の入手難	10
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	3
請負単価の低下・上昇難	8
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	1
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	7
熟練技術者の確保難	1
下請業者の確保難	1
官公需要の停滞	8
民間需要の停滞	12
その他	0
合 計	68

製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	1
製品ニーズの変化への対応	9
生産設備の不足・老朽化	16
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	70
原材料の不足	7
人件費の増加	17
原材料費・人件費以外の経費の増加	8
製品(加工)単価の低下・上昇難	17
金利負担の増加	2
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	15
熟練技術者の確保難	5
需要の停滞	36
その他	0
合 計	207

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	1
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	3
仕入単価の上昇	17
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	21
その他	0
合 計	50

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	4
同業者の進出	4
購買力の他地域への流出	6
消費者ニーズの変化への対応	18
店舗の狭隘・老朽化	4
駐車場の確保難	1
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	4
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	8
仕入単価の上昇	21
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	5
需要の停滞	3
その他 (ネット販売、事業継承)	4
合 計	87

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	11
利用者ニーズの変化への対応	19
店舗施設の狭隘・老朽化	3
人件費の増加	18
人件費以外の経費の増加	11
利用料金の低下・上昇難	18
材料等仕入単価の上昇	20
金利負担の増加	2
事業資金の借入難	7
従業員の確保難	19
熟練技術者の確保難	6
需要の停滞	16
その他 (コロナの影響)	3
合 計	156

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

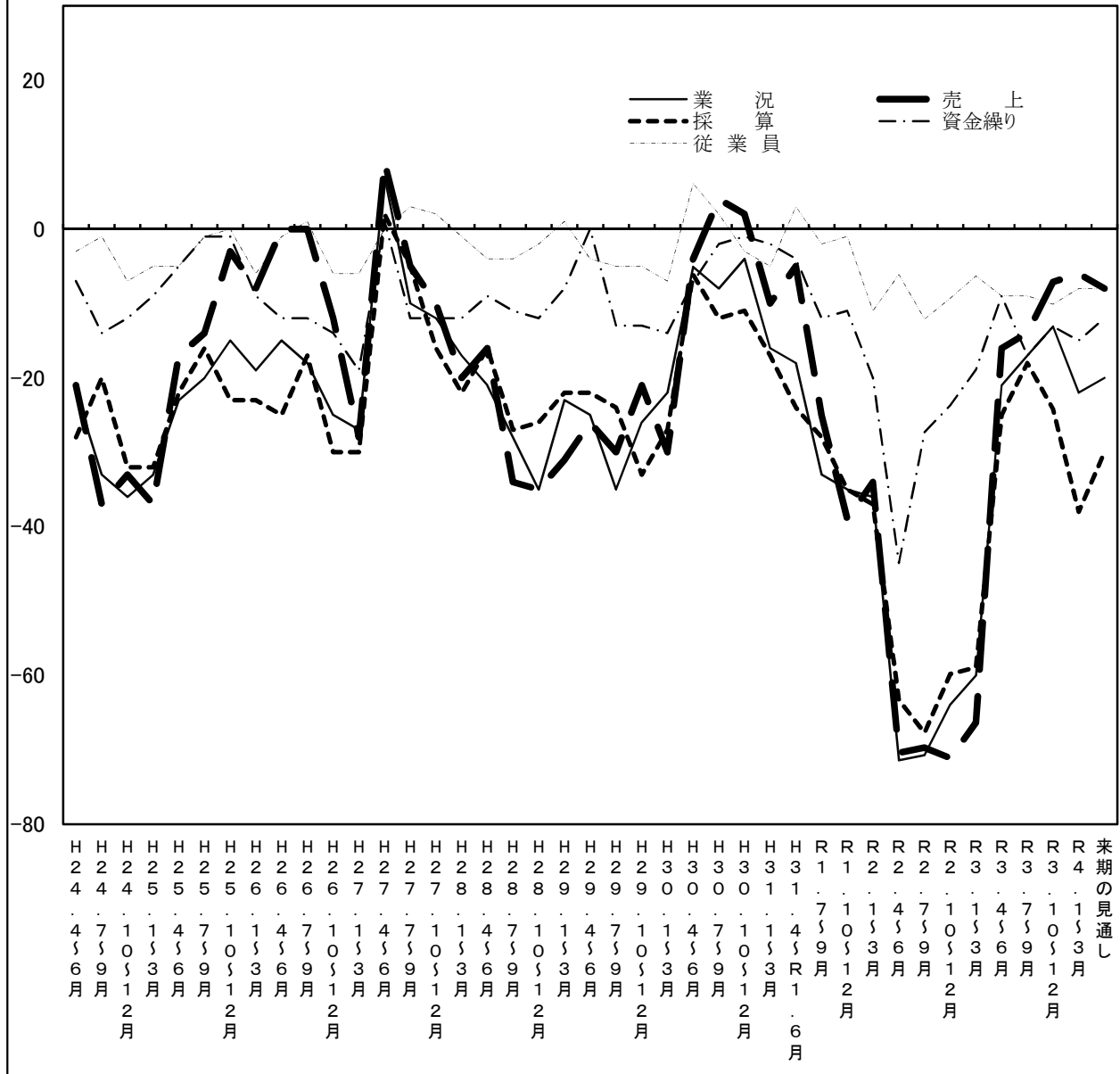


図 2

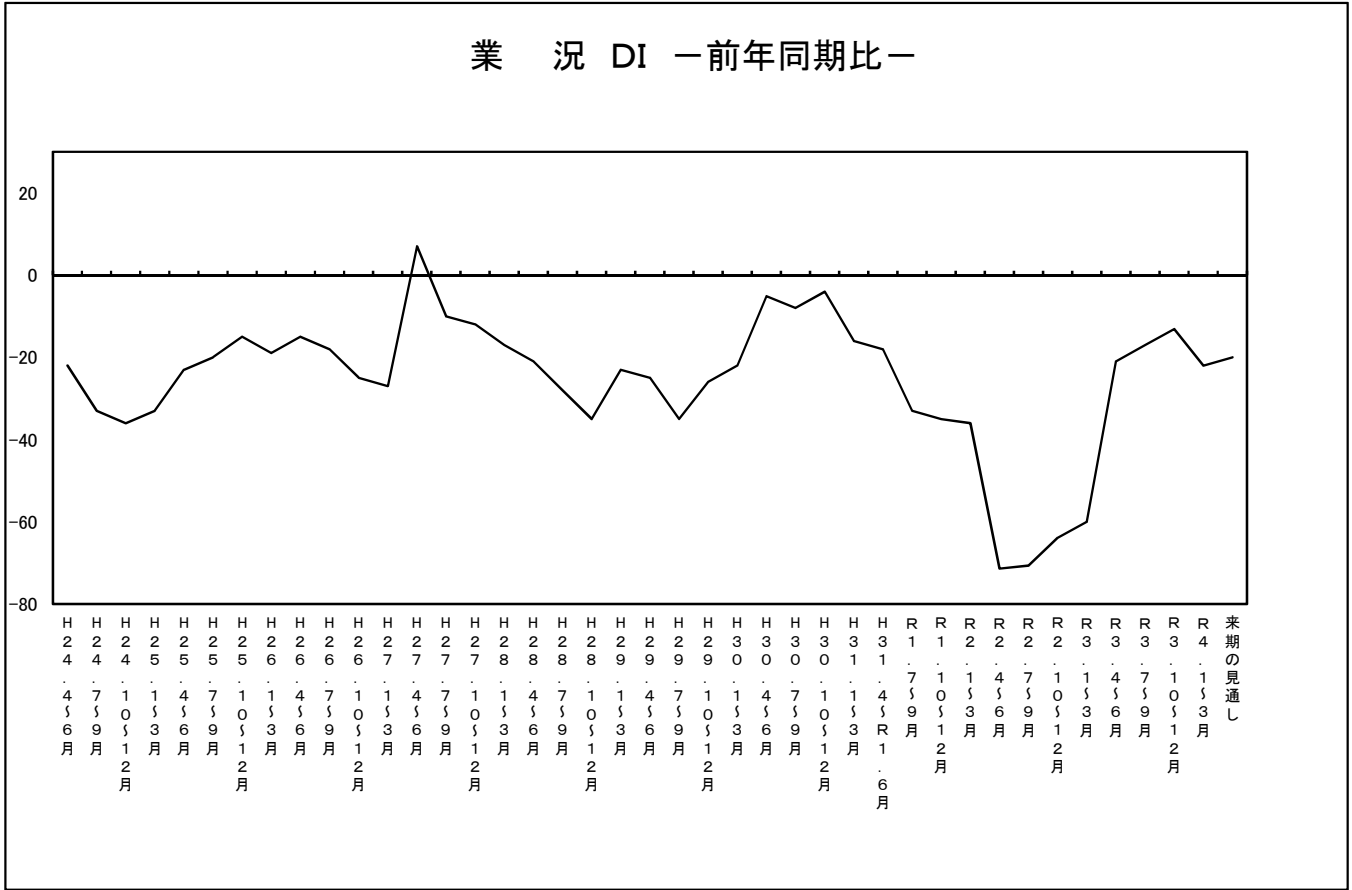


図 3

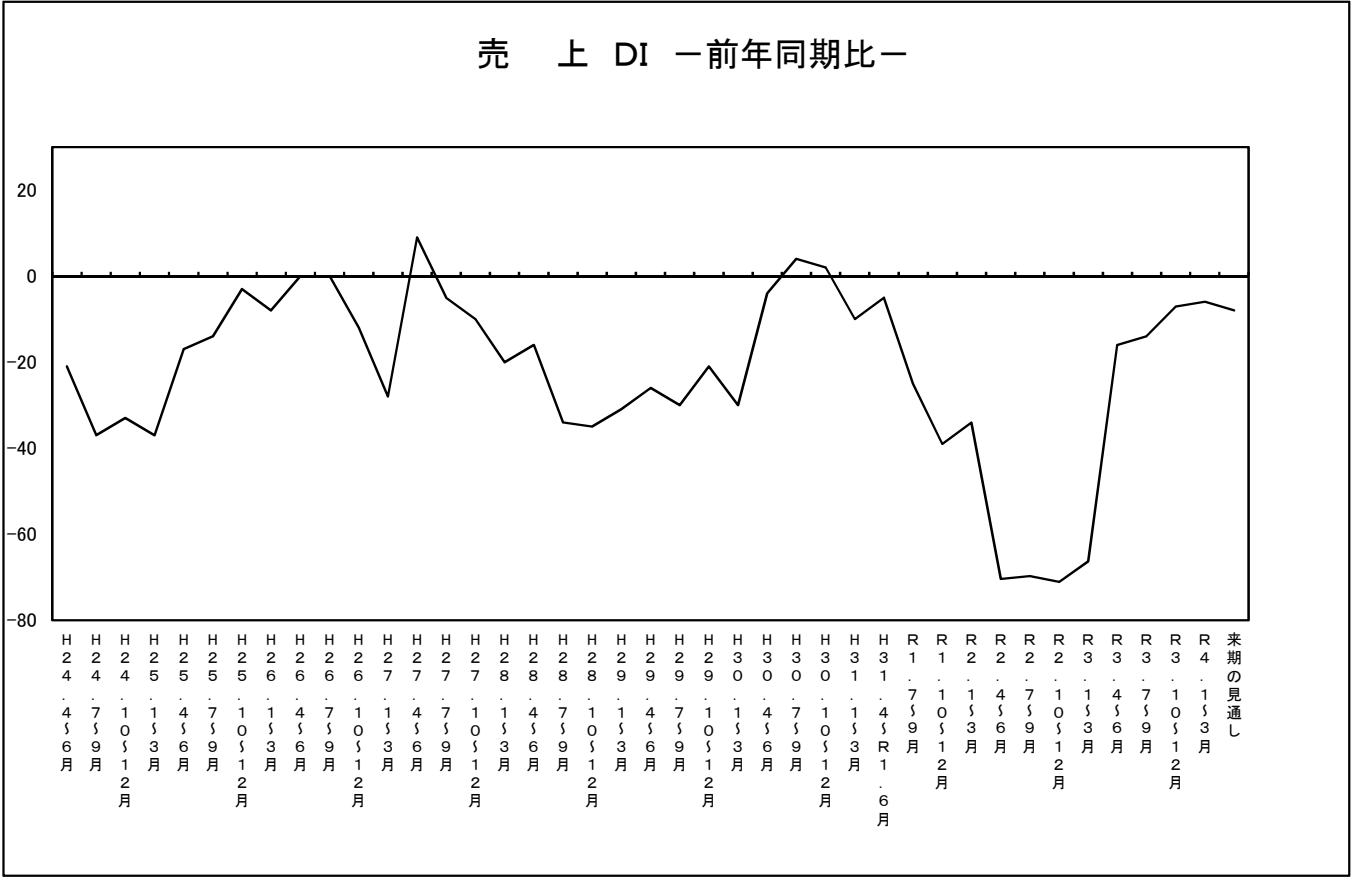


図 4

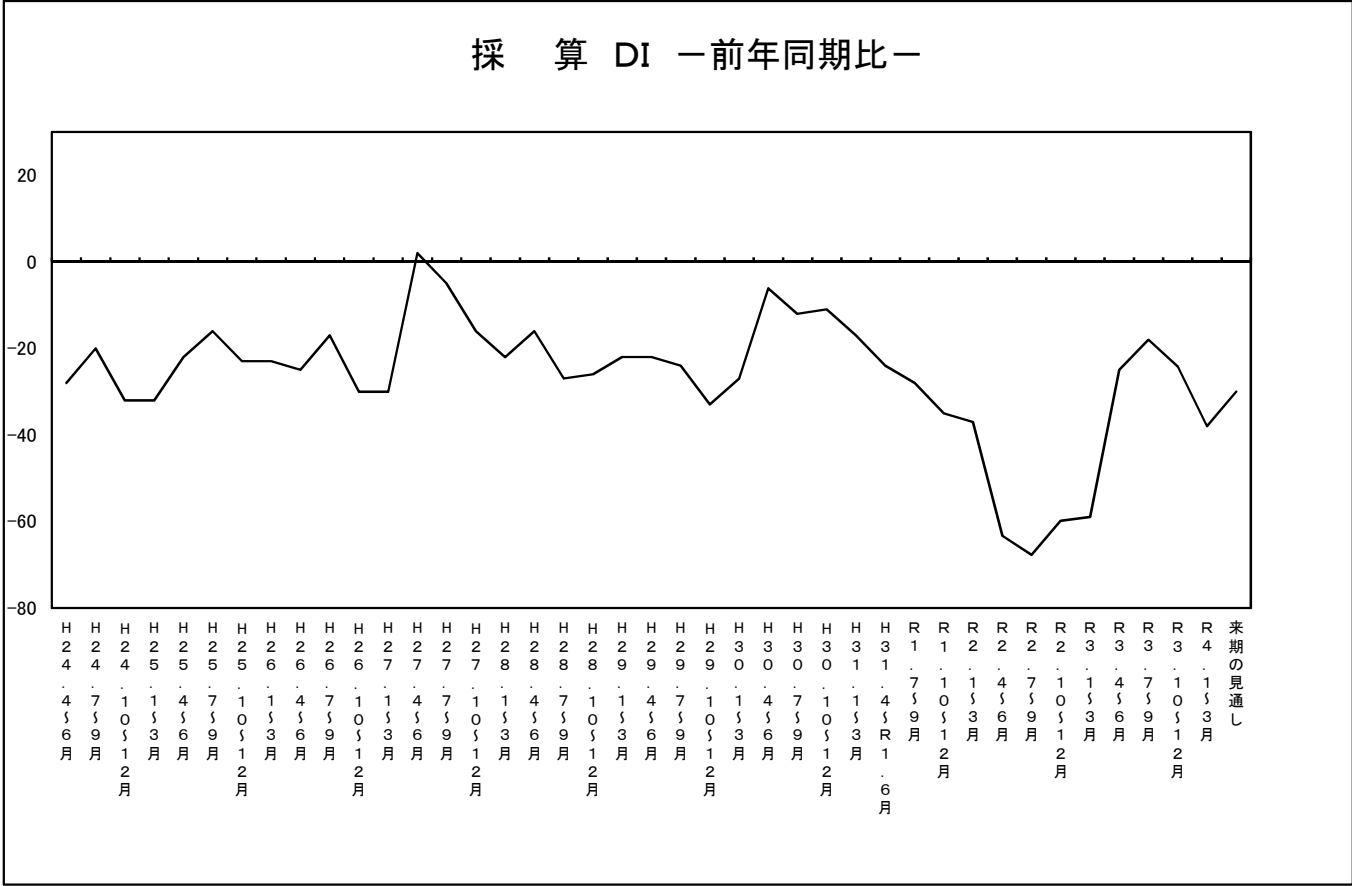
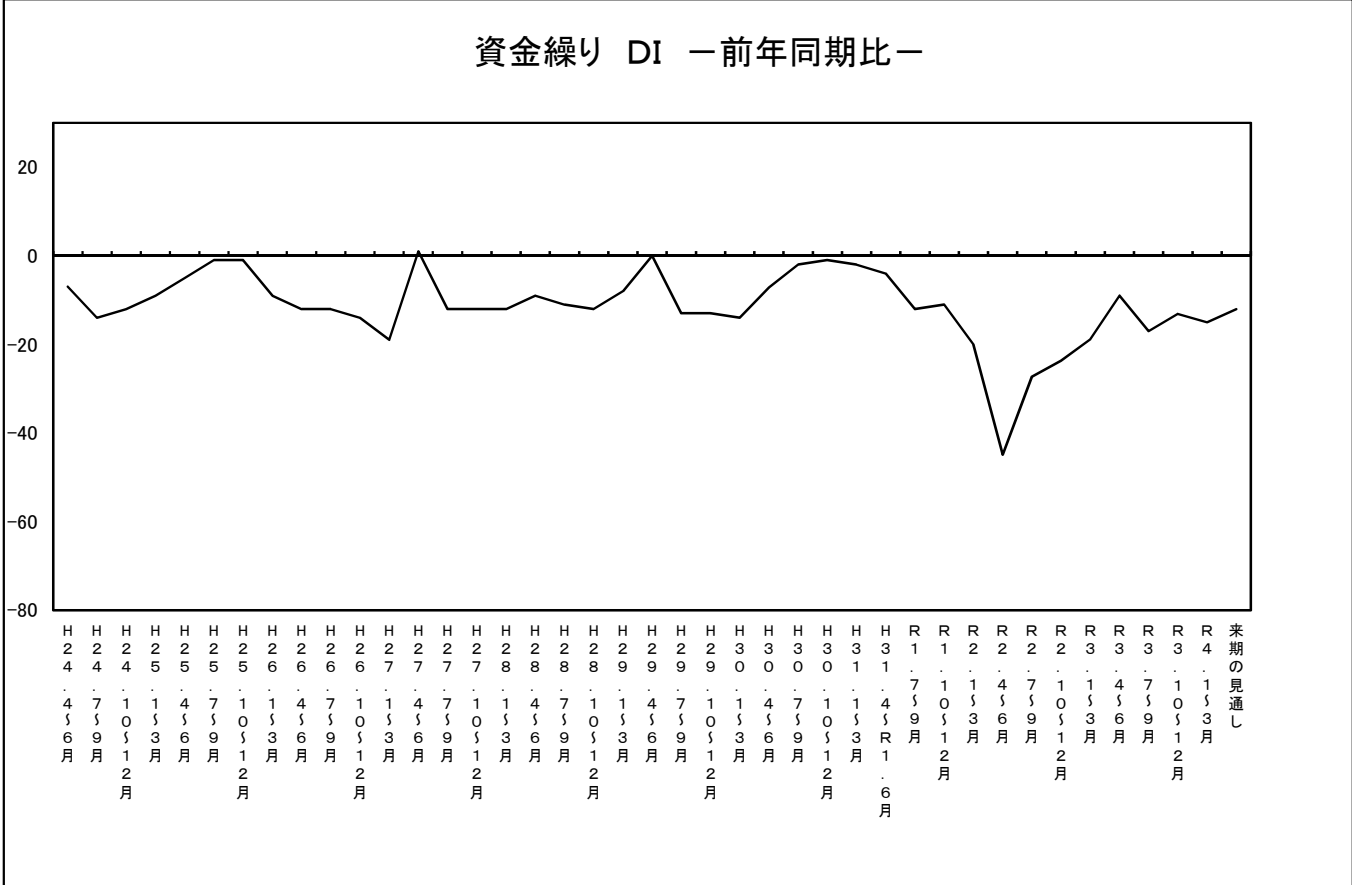
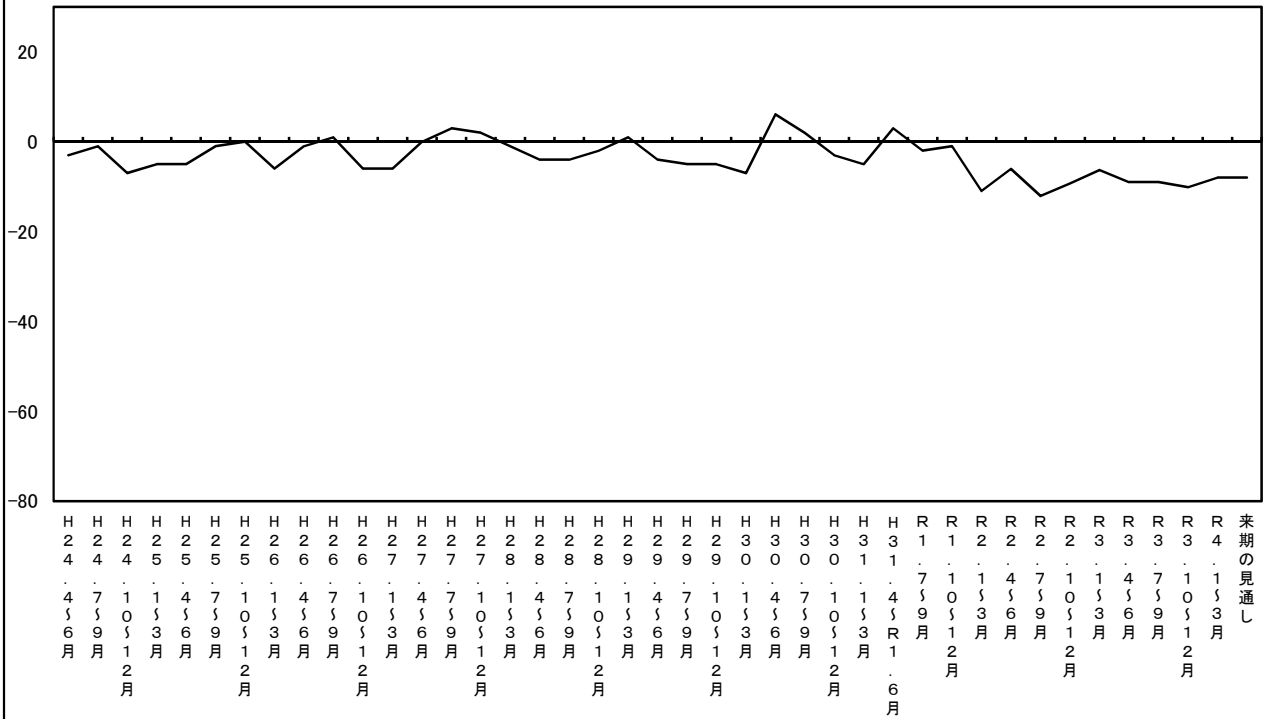


図 5



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp